

ふかまのまじ

発行元 深町町内会連合会
発行所 深町町内会連合会
電話 六三二一三八八

PTAから

地域の皆様へ

PTA会長 小川 敦道

先輩方がすばらしい土台を築かれたおかげで、関係施設はもちろんです。学校を取り巻く環境はすばらしくなっています。校舎、屋内運動場、プール等市内のどこにも負けないものです。児童の減少による複式学級、登下校を安全にするための歩道整備、これらを解消するための並々ならぬ関係者の努力を現在の会員が見習い、これを受けついでいけるよう学校と保護者が一体となって頑張っているところと、町内人口も増加（五月末現在一〇八〇人）し、児童数八〇人となり、廃校となる学校もある中で、深小は喜ばしいことです。

特に生涯学習世代の交流事業では、地域の講師の活躍が増え、名人の掘り起しにつながっています。これは子ども達にとって多岐にわたる貴重な体験です。



昭和十四・五年頃は、欧州では英独戦争が激しく、ヨーロッパ海域・インド洋・南太平洋は英国の海軍力が強く、交戦国（ドイツ）の物資を積んだ船は拿捕没収する旨を世界に宣言していたため、ドイツの発電機を三〇〇七位積んだ本船、ゼノアの港を出港することができず、ついに四十五日間停泊することになったが、漸くロンドンの大使館で日英の話し合いができ、今回の本船（室蘭丸）の積荷については英国は黙認する事で了解できた。由で、漸くエジプトのポートサイドに向け出港することができました。

二〇〇二年から完全学校五日制の下で、「ゆとりの中で一人一人の子ども達に（生きる力）を育成する」ことを基本的なねらいとして、いろいろなところから、増々地域で学習することが多くなってきていると思います。引き続きご支援、ご協力をお願いします。最後に、皆様方のご苦勞に感謝し、今後増々地域とともにPTAが発展するよう根会員一体となつて望む所存でございます。一八代（平成〇年） 会長 ▲▲▲

「近東伊太利航路」の思い出(8)

秋本 俊之

昭和三十四・五年頃は、欧州では英独戦争が激しく、ヨーロッパ海域・インド洋・南太平洋は英国の海軍力が強く、交戦国（ドイツ）の物資を積んだ船は拿捕没収する旨を世界に宣言していたため、ドイツの発電機を三〇〇七位積んだ本船、ゼノアの港を出港することができず、ついに四十五日間停泊することになったが、漸くロンドンの大使館で日英の話し合いができ、今回の本船（室蘭丸）の積荷については英国は黙認する事で了解できた。由で、漸くエジプトのポートサイドに向け出港することができました。

と、東側はサウジアラビアの黄色い砂と、峨々たる山の連なる砂漠の連続です。西側は、遙か沖のアフリカ大陸を眺めながら南下し、印度のボンベイに入港、原綿を積み込みました。友人の船員と夜ボンベイに上陸し街を散歩中、街路樹の下にホームレスが寝ていて、街が暗いので、誤ってその足を踏んだのには驚きました。荷役は四、五日で終り又出港です。赤道直下の印度洋は実に静かな海で、風が吹かないのでデッキ上に立てた煙突の様な風取器からの風が入らず、扇風機の風

石炭を燃料として走る貨物船なので、まだ燃え盛っている火を長い火箸で掻き出しては海水をかけて火を消し、又、新しい石炭を炊くので物凄く煙と、灰が船底に立ちこみます。若い子などは「僕も無線部の次長さん（私のこと）の様な勉強をしておけばよかった」と羨ましがっていました。

私にとってお金の知識は、ポケットの中までが限界。家計は入りと出のバランスノ上立っており、これが崩れると家庭会計は破綻する。これは体感として庶民、誰れでも持っている。入りと出を計り出す責任を制する。赤字は自覚責任として全て自分の身に掛かる。この視点で、今の日本の金融政策を眺めたらどう映るだろうか。①「ゼロ金利政策」は継続する。②「日銀の金融政策」は、この視点で、今の日本の金融政策を眺めたらどう映るだろうか。③「地方救済は正道なのか。④「地方の抱える膨大な財政赤字をどういう方向で解決するのか。⑤「銀行には七兆円の公的資金（預金者保護に使う交付国債）が投入された。（丸の内線）八九年に主要十九銀行と日本銀行の納めた法人税二一三〇億円が、九九年にはなんと三四億円。反面、金融保険業の交際費は一八五九億円、寄付金七二七億円、合せて二五八六億円（朝日新聞）法



ヒナゲシ

ただでは船底で動く二時間交替の機関部のファイヤマン（火夫）は汗と石炭の灰で真っ黒くなり、当直が終わってデッキに上がって来ても誰か見分けがつかない様な顔をフウフウ言っています。

位置を把握している訳です。本社からの電報は、東支那海・印度洋・地中海はそのエリアを担当している長崎無線局と交信を続けながら航行します。▲▲▲

ポルトサイドの港に着くと、早速現地の商人が時計とかジュエリー等を売りに来たので私も腕時計一個買いました。が、レッドシイ（紅海）を航行中止まっして、やれやれ騙されたかなと思いつ、帰りました。が、横浜に帰って時計屋さんに修理を依頼した処、「これは玩具ですよ」と言われたのはがっかりしました。

ポルトサイドを出港し、スエズ運河を通りレッドシイに出る

深町町内会連合会

七月町内各種団体行事予定

